



プレーパーク レポート

第22号

2024年3月
小鹿野町



長若集学校での
初開催でした！

みどりの村から遊びの出前プレーパーク！

2023年度最後の開催となったこの日は、みどりの村ではなく長若集学校でのイベントに合わせた出前プレーパークとなりました。

この数年で小鹿野町のプレーパークも認知度が上がり、毎回たくさんの親子が遊びに来てくれていましたが、よりアクセスしやすい今回の開催は大きな広報の機会となりました。

大量の段ボールでの遊び、竹のジャングルジムづくり、シャボン玉など、遠目に見て楽しそうなことをしていることがわかる遊びの環境を展開して、多くの親子に参加してもらうことができました。

そして、この一日が成功した大きな要因は、みどりの村でのプレーパークにいつも参加してくれている親子の存在。どんどん遊びを創り出す常連親子の姿を見て、初参加の親子の遊び心も動いたのだと感じます。



初参加の子どもにも、わかりやすい遊びとして大量の段ボールを用意しましたが、常連の子どもたちが最初に始めたのは、いつもみどりの村で作っている弓矢でした。有り合わせの素材をうまく使って慣れた様子で遊ぶ子どもたちを見て、初参加の大人は大変興味していました。

もちろん、大量の段ボールはその後は大活躍。常連の子どもたちも初参加の子どもたちも思い思いにカタチを変えて楽しむ姿が見られました。

遊びの様子



会場で同時開催されていたイベントに参加していた大人も多く足を運び、子どもたちに交じて遊ぶ光景もとても良かったです。スーツ姿で焚火でマッシュマロを焼いたり、けん玉に挑戦して技を決めたり。

子どもがのびのび遊び育つためには、その町の大人たちがのびのびと遊び心を持って暮らす姿が広がることが不可欠です。

今後もこういった出前開催はしていきたいと感じる一日となりました。



今日のハイライト

初めての開催場所だったこと、大きなイベントとの同時開催だったことなどもあり、初参加の親子は50名を超えました。

「プレーパークって何だろう？」と初めは少しドキドキしながら遠慮気味に遊んでいた子どもも多かったように感じます。

しかし、「遊ぶ」ともっともっと遊びたくなるのが子どもたち。居合わせたメンバーが入れ替わり立ち代わりで大縄で楽しんでいたのですが、その内に誰かが「綱引きもやってみたーい！」と、遊びたい気持ちを口にしました。

その後の綱引きはイベントが終わってもしばらく人が途切れないほど盛り上がっていました。

